

冠動脈疾患と心臓突然死の最新治療について

東京女子医科大学 日本心臓血圧研究所

循環器内科 主任教授 笠貫 宏

E-mail : kasanuki@hij.twmu.ac.jp

・冠動脈疾患治療の進歩

カテーテルによる狭心症・心筋梗塞の治療

1 冠動脈疾患

生活習慣病としての心臓病

- 冠動脈病変の成因
- 脂肪沈着からプラーク破裂
- 炎症の関与

2 カテーテルを用いた狭心症・心筋梗塞の治療

- カテーテル治療の適応拡大
- 1 枝病変の狭心症から多枝病変、主幹部病変の不安定狭心症まで
- 急性心筋梗塞への応用
- “*The sooner, the better*” 早期診断と早期カテーテル治療

3 カテーテル治療の限界とその克服

- “Bigger the better”
- New Device の開発
 - アテレクトミー
 - スtent
 - ロータブレーター
- 再狭窄 0 % への挑戦
 - 血管内超音波治療
 - 血管内放射線治療
 - 薬物放出stentの臨床応用
- 良好な再概流と心筋保護
 - 血栓吸引療法と末梢保護 Device
 - カテーテルによる心筋保護療法

4 カテーテルを用いた心臓再生医療

- 血管再生・心筋再生のためのカテーテル治療

5 日米の比較

- カテーテル治療かバイパス手術か
- 多施設臨床試験によるガイドライン
- 東京女子医科大学心研の治療方針と成績

. 心臓突然死予防の進歩

- 植込み型除細動器と心臓再同期療法 -

1 心臓突然死の実態

- 突然死とは
- 突然死の原因
- 心室細動とは
- 心室頻拍とは
- 心室細動・心室頻拍を起こす原疾患と要因
心筋梗塞，心筋症，ブルガダ症候群ほか

2 植込み型除細動器（ICD）による突然死予防

- ICD とは
- ICD の歴史
- 技術の進歩
- CD の有用性
- ICD の適応とその変遷
米国を中心とする大規模臨床試験の結果
植込みガイドラインの変遷

3 ICD の限界とその克服

- 心不全の新しい治療法
心臓再同期療法（両室ペーシング）
- 生命予後の改善に向けて
両室ペーシング ICD
- 突然死の 2 次予防から 1 次予防へ
MADIT 試験
- 一般市民による突然死の克服
自動体外式除細動器（AED）

4 日米の比較

- 世界の ICD 植込み件数
- 基礎心疾患の違い
- 東京女子医科大学病院の成績